

エトロ(別名:レウエル)

シナイの荒野に住んでいたミディアン人の能力が高い指導者、人格者で祭司。エジプトの王女に育てられたモーセは成人後、エジプト人の奴隷となっていたイスラエル人が鞭打たれるのを見かね、一人のエジプト人を殺してしまう。エジプトから逃れたモーセはミディアン人の土地に入った。そこで羊を放牧している土地の娘たちがいた。彼女たちが羊に井戸の水を飲ませようとしていた時、別の羊飼いの男たちが娘たちの邪魔をした。



そこで、モーセは娘たちを救い、羊に水を飲ませることができた。この娘たちの父エトロ(別名:レウエル→神の友の意)は、モーセを温かく迎え、モーセがその土地に留まる決心をすると、娘ツイポラをモーセと結婚させた。後、モーセがイスラエルの民を率いてエジプトを脱出したときには、エトロはモーセを訪ね、民たちに裁判が必要なときにただモーセ一人が裁き人になるのではなく、もっと組織的に行うようにと摂理的な助言を与えた(出エジプト記18章)。

出エジプト記	02:18 娘たちが父【レウエル】のところへ帰ると、父は、「どうして今日はこんなに早く帰れたのか」と尋ねた。
出エジプト記	03:01 モーセは、しゅうとでありミディアンの祭司である【エトロ】の羊の群れを飼っていたが、あるとき、その群れを荒地の奥へ追って行き、神の山ホレブにきた。
出エジプト記	04:18 モーセがしゅうとの【エトロ】のもとへ帰って、「エジプトにいる親族のもとへ帰らせてください。まだ元気であるかどうか見届けたいのです」と言うと、【エトロ】は言った。「無事で行きなさい(安心していきなさい:聖書協会共同訳)。」
出エジプト記	18:01 モーセのしゅうとで、ミディアンの祭司である【エトロ】は、神がモーセとその民イスラエルのためになされたすべてのこと、すなわち、主がイスラエルをエジプトから導き出されたことを聞いた。
出エジプト記	18:02 モーセのしゅうと【エトロ】は、モーセが先に帰っていた妻のツイポラと、
出エジプト記	18:05 モーセのしゅうと【エトロ】は、モーセの息子たちと妻を連れて荒地野に行き、神の山(→ホレブ)に宿営しているモーセのところへ行った。
出エジプト記	18:06 彼はモーセに、「あなたのしゅうとであるわたし、【エトロ】があなたの妻と二人の子供を連れて来た」と伝えると、
出エジプト記	18:09 【エトロ】は、主がイスラエルをエジプト人の手から救い出し、彼らに恵みを与えられたことを喜んで、
出エジプト記	18:12 モーセのしゅうと【エトロ】は焼き尽くす献げ物といけにえを神にささげた。アロンとイスラエルの長老たちも皆来て、モーセのしゅうとと共に神の御前で食事をした。
出エジプト記	18:14 モーセのしゅうとは、彼が民のために行っているすべてのことを見て、「あなたが民のためにしているこのやり方はどうしたのか。なぜ、あなた一人だけが座に着いて、民は朝から晩まであなたの裁きを待って並んでいるのか」と尋ねた。
出エジプト記	18:17 モーセのしゅうとは言った。「あなたのやり方は良くない。」
民数記	10:29 モーセは、義兄に当たるミディアン人【レウエル】の子ホバブに言った。「わたしたちは、主が与えると約束してくださった場所に旅立ちます。一緒に行きましょう。わたしたちはあなたを幸せにします。主がイスラエルの幸せを約束しておられます。」
士師記	01:16 モーセのしゅうと、あのケニの人々は、ユダの人々と共になつめやしの町からユダの荒地野、アラド近辺のネゲブに上って来て、その民と共に住んだ。
士師記	04:11 カイン人のヘベルがモーセのしゅうとホバブの人々、カインから離れて、ケデシュに近いエロン・ベツァアナニムの辺りに天幕を張っていた。

※しゅうと:舅(夫または妻の父)、姑(夫または妻の母)

【参考】ツイポラ

出エジプト記	02:21 モーセがこの人のもとにとどまる決意をしたので、彼は自分の娘ツイポラをモーセと結婚させた。
出エジプト記	04:25 ツイポラは、とっさに石刀を手にして息子の包皮を切り取り、それをモーセの両足に付け、「わたしにとって、あなたは血の花婿です」と叫んだので、
出エジプト記	18:02 モーセのしゅうとエトロは、モーセが先に帰っていた妻のツイポラと、